

主要音楽配信サイト リアルタイムチャート 1位独占!

4年振りに帰ってきた伝説のボーカルグループ

SG Wannabe 来日コンサート開催!

『SG Wannabe Come Back Concert in Japan [I Wanna Be With You]』

2015年10月10日(土) チケット一般発売開始

2015年8月、4年振りにグループとしての活動を再開した伝説の韓国男性3人組ボーカルグループ SG Wannabe が、2015年11月、東京・大阪でコンサートを開催する。

2004年のデビュー以来、その圧倒的な歌唱力で人気が広がり、2007年には韓国国内で最も名誉あるゴールデンディスク大賞を受賞するなど、名実ともに韓国のトップグループとなった SG Wannabe。日本でも韓国ドラマ『悲しき恋歌』(ウォン・サンウ主演)などの挿入歌で知名度を上げ、日本デビューを果たした。

2012年から活動休止期間に入ったが、2015年8月19日アルバム『THE VOICE』をリリースし、4年振りに活動を再開。アルバム音源が公開されると同時に、主要音楽配信サイトのリアルタイムチャート1位を独占。その衰えない人気を証明した。10月ソウルでの単独コンサートを皮切りに、全国ツアーを行うことが決定しており、韓国国内だけでなく日本でも多くの期待が集まる中、11月には待望の日本での公演開催も決定。4年振りに帰ってきた伝説のボーカルグループのステージにぜひご期待ください。



©CJ E&M

SG Wannabe Come Back Concert in Japan [I Wanna Be With You]

【東京】 2015年11月10日(火) 豊洲 PIT

18:00 開場 / 19:00 開演

2015年11月11日(水) 豊洲 PIT

18:00 開場 / 19:00 開演

お問い合わせ: Mdash(パッドニュース) Tel: 03-6416-1515(月~金 10:00~18:00)

【大阪】 2015年11月13日(金) サンケイホールブリーゼ

<昼公演> 13:00 開場 / 14:00 開演

<夜公演> 18:00 開場 / 19:00 開演

お問い合わせ: ソーゴ大阪 Tel: 06-6344-3326 (月~金 11:00~18:00)

【チケット料金】 10,800円 (全席指定・税込)

※入場時別途ドリンク代必要 ※3歳以下入場不可、4歳以上有料

■主催: CJ E&M / 株式会社 TIMO Japan ■企画・制作: 株式会社 TIMO Japan

■協力: SG Wannabe ジャパンオフィシャルファンクラブ ■制作協力・運営: Mdash(パッドニュース)

SG Wannabe (エスジーワナビー)

(写真左より)

- ◆キム・ヨンジュン 1984年9月12日 / AB型
- ◆キム・ジノ 1986年5月21日 / B型
- ◆イ・ソクファン 1984年2月21日 / B型

2004年1st Album「WANNA BE+」でデビュー。その圧倒的な歌唱力で人気を博し、セールスでも実績を残してきた、名実ともに韓国国内最高の男性ボーカルグループ。

【アルバム】

- 2015年 THE VOICE
- 2011年 SG Wannabe BY SG Wannabe 7 PART.2
- 2010年 SG Wannabe BY SG Wannabe 7 PART.1
- 2009年 Gift From Sg Wanna Be
- 2008年 My Friend
- 2007年 The Sentimental Chord
- 2006年 The 3rd Masterpiece
- 2005年 살다가(サルタガ/生きて)
- 2004年 WANNA BE+

【日本作品】

- 2010年 Precious ~君だけが僕の帰る場所 (シングル)
- 2009年 RAINBOW (アルバム)
- 2008年 in the rain (シングル)
- 2008年 Get Along Together (シングル)

チケット一般発売日

2015年10月10日(土) ~

<東京> プレイガイド情報

- ◆チケットぴあ
電話: 0570-02-9999 Pコード 272-728 (24時間・音声自動応答)
WEB: <http://pia.jp/> (PC/携帯共通)
店頭: チケットぴあ店舗、セブンイレブン、サークルK・サンクス
- ◆ローソンチケット
電話: 0570-084-003 Lコード: 73625
WEB: <http://l-tike.com/>
- ◆イープラス <http://eplus.jp>
- ◆楽天チケット <http://ticket.rakuten.co.jp/>
- ◆CN プレイガイド 0570-08-9999
※音声ガイダンス一部携帯・PHS全機種・CATV接続電話・IP電話からはご利用いただけません。

<大阪> プレイガイド情報

- ◆チケットぴあ
電話: 0570-02-9999 Pコード 274-467 (24時間・音声自動応答)
WEB: <http://pia.jp/> (PC/携帯共通)
店頭: チケットぴあ店舗、セブンイレブン、サークルK・サンクス
- ◆ローソンチケット
電話: 0570-084-005 Lコード: 59668
WEB: <http://l-tike.com/>
- ◆イープラス <http://eplus.jp>
- ◆楽天チケット <http://ticket.rakuten.co.jp/>
- ◆CN プレイガイド 0570-08-9999
※音声ガイダンス一部携帯・PHS全機種・CATV接続電話・IP電話からはご利用いただけません。

◇ファンクラブに関するお問い合わせ◇ SG Wannabe ジャパンオフィシャルファンクラブ www.sgwannabe.jp

4年振りにグループとしての活動を再開した SG Wannabe。活動再開にあたっての Q&A

◆ 4年振りのカムバック。今の正直な気持ちは？

キム・ヨンジュン：とてもドキドキして、良い気分です。久しぶりにファンと会えるということがとても幸せです。

イ・ソクファン：一日一日、幸せです。仕事に行くというよりは、遊びに行くという気持ちです。

キム・ジノ：4年という長い間感じていた経験から、SG Wannabeとしての今この瞬間がどれだけ大切なのか、一日一日噛みしめながら楽しんでいます。

◆今回は自作曲も収録されていますが、それぞれの曲にどのようなメッセージが込められていますか？

キム・ヨンジュン：『二十』 疲れた人生の中で、20代後半・30代前半を生きていた時の青春が、20代前半の夢が多かった時を思い出し、回想している姿を書きました。

イ・ソクファン：『その時』 その時に感じていた後悔・恋しさについて書いてみました。軍隊にいる間、毎日、社会での自分の姿を後悔して反省した。僕と同じような全ての方を慰めてあげたくて、書いた曲です。

キム・ジノ：『YOU ARE MINE』

常に成功の為に一生懸命生きてみたら、愛する人と一緒にご飯を食べたり話をする事すら難しくなってしまうほど、失うことが多い人達。「成功」ということは寂しさではなく、『共に』ということ満喫するという事だ、という意味の曲です。

◆今回のアルバムで思い入れのある曲は？

キム・ヨンジュン：『二十』初の自作曲なので、愛着が湧きます。

イ・ソクファン：僕の自作曲。個人的に思い入れがあります。僕の望み通りに、ヨンジュンとジノが歌ってくれた。この場を借りて、ありがとう。

キム・ジノ：『胸ときめくように』僕たちのカラーを守りながらも、僕たちが一番重要視していた溢れそうな感情を、3人のバランスを保ちながら作れたと思います。メンバー達の自作曲も、それぞれの思いと心を含められているので、とても満足しています。

◆4年振りの SG Wannabe3人での活動再開にあたって、何か特別なきっかけがあったのですか？

自然な流れ、(活動再開することは)当然のことでした。解散したこともないので、元々のスタートであるこの場所が恋しかった。

◆休止期間を経て、メンバーの変わったなと思う点と変わらない点を教えてください。

キム・ヨンジュン：十分な休息の後なので、お互いへの思いや考えも深くなり、スケジュール中いつも楽しく過ごしています。

イ・ソクファン：3人とも(いい意味で)力が抜けた。自然になった。

キム・ジノ：音楽に対する態度、心構えがプラスされて新しい感情が生まれました。変わらない点は温かい心の拠り所であるということ。

◆SG Wannabeとして活動するにあたって、休止前と再開後で、自分自身の中での気持ちの変化などはありますか？

キム・ヨンジュン：心に余裕を持ち、いつも幸せで、感謝する気持ちで過ごしています。

イ・ソクファン：時間が経って辛かったことを思い出す時、後悔のない毎日にしようと努力しています。

キム・ジノ：4年という空白期間でそれぞれに多くの出来事があり、それにより自然に生き方・考え方の変化はありました。その全ての変化を、音楽に込めました。



◆11月の公演&日本のファンへ向けてメッセージ◆

4年間、お待たせしました。

長い間色々なことがあった時間でしたが、変わらずその場所で僕たちの声を覚えてくださり、待っていてくださることを、ふとした瞬間に、本当に恵まれていると感じています。長い間お待たせした分、素敵なステージで会いに行きます。

(写真左より) キム・ヨンジュン、キム・ジノ、イ・ソクファン